

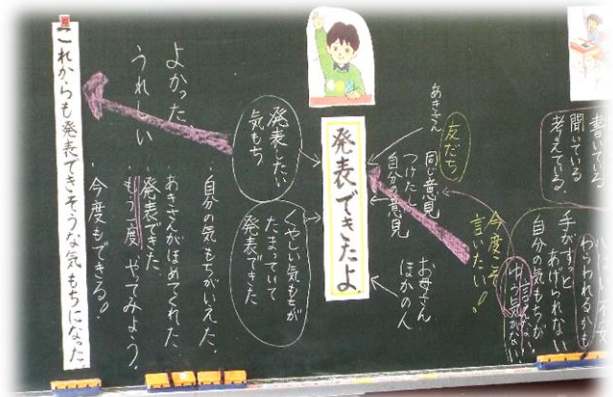
(3) 実践例1 板書の工夫 (小・中事例)

児童生徒の多様な意見、またその比較が見えるような板書の工夫や、本時の主題に迫るキーワードを取り上げる板書など、生徒の思考の流れが分かる板書を心掛けている。教材や生徒の生活場面の提示、また学級で事前に行ったアンケートなどで、写真等が生徒の生活の記憶に触れるようにし、ねらいとする道徳的価値への方向付けになるようにしている。場面絵や中心発問は配置や書く場所を工夫し、生徒の思考の流れに沿った「動きのある」「山場のある板書」を工夫している。また、自分の考えがもちづらく考えの深まりができない配慮を必要とする子どもには、板書を見ながら「自分の考えが一番近いのはどれかな」など支援の一つとして板書を活用している。

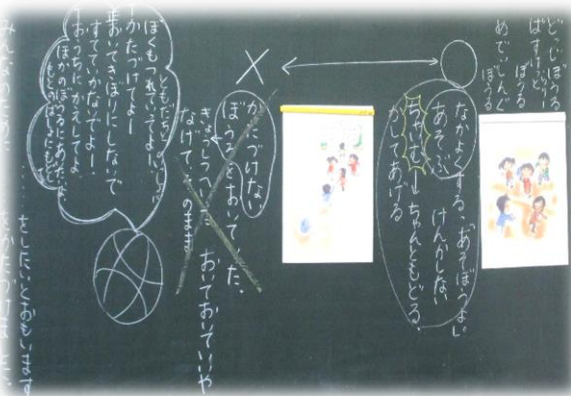
■大仁北小学校「おおかみとびーたー」



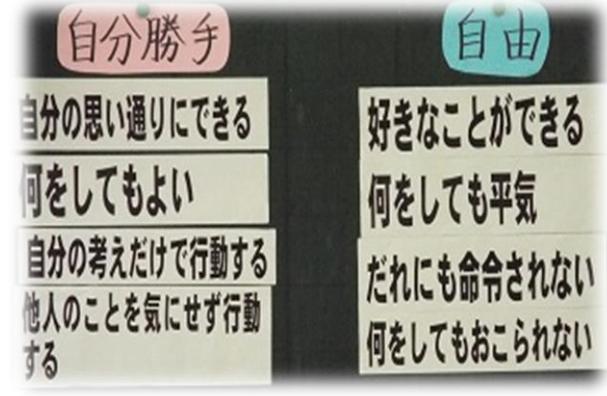
■大仁小学校「発表できたよ」



■大仁北小学校「ぼうるあそび」



■大仁小学校「修学旅行の夜」



■大仁中学校 全クラスで使用している「第10回授業」道徳の授業を積み重ね

